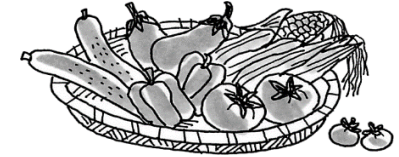




→7/6〔金〕17時頃
避難勧告発令前
保育園前の総頭川
道路すれすれまで水位が
上昇

平成30年 8月の保育園だより



坂みみょう保育園

7/8〔日〕6時頃 →
総頭川氾濫後
保育園の前の道路は
海のような濁流に



→7/10〔火〕
粉塵が舞わないよう
園庭の汚泥撤去作業は
ボランティアの方々に

7/26〔木〕→
プールでの
水あそびに
たくさんの
笑顔がこぼれる
ようになり
ました！



物資について 保護者有志、地域の皆様、業者の皆様、グループ園の皆様から、子ども達の衣料（下着、Tシャツ、ズボン、水着等）や生活雑貨（靴、長靴、傘等）衛生用品（紙パンツやタオル等）や玩具（絵本も含む）をお預かりしています。7月末で第一回目は終了しましたが、第二回目として、**8/6（月）～8/17（金）まで、2Fホールに準備**をしていますので、必要なものを何方でもお持ち帰りください。※乳児から小学生まで対応できるサイズもありますので、未入園や小学生のお知り合いなどにもお伝えください。

西日本豪雨災害に思う ～笑顔をとりにどす 寄り添い方を求めて～

西日本を中心に、梅雨前線等の影響による集中豪雨は、坂町内でも砂防ダムの決壊、土砂災害、総頭川や天地川の氾濫等、多くの住民や家屋に甚大な被害を及ぼしました。
お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆様、今なお行く先不明のご家族には、心よりお見舞い申し上げます。
7月6日（金）17時30分、避難勧告が発令され、けたたましいサイレンのなる中、職員が保育園に残っている乳幼児20名余りを垂直避難させ（2Fホール）、保護者の皆様のお迎えを待ちますが、18時36分、停電になった時には、より一層の緊迫感を感じました。
道路の渋滞に巻き込まれて、坂町内まで帰っているのに、保育園にたどり着けなかった保護者の皆様も多くご心配だったことと思います。
最後のお迎えの方を見送り、19時40分に避難指示が発令される頃には、さらに救急車やパトカーのサイレンが不気味だったことを記憶しています。残っていた職員6名が戸締りをして表門を出たのが19時50分。その瞬間表門前の総頭川の氾濫で、保育園に引き返す判断をしたと同時に、園庭側上の山の土砂崩れと民家の火災が発生しました。
私達職員が保育園内でそんな体験をしている中、避難所にやっとたどり着いたとか、濁流を目にしたとか、浸水や土砂の迫る自宅の2階で恐怖感を味わった子ども達や保護者の皆様も多かったことでしょう。
保育園近くの西側や森浜の住民の方の中にも避難所まで行くことができず、保育園の明かり（停電後2Fのみ補助電球が1時間ほどつく）を目印に避難された方は、この日、20名以上おられました。また、消火活動の消防団の皆様6名も土砂崩れに道を阻まれ保育園に避難されました。
眠られない夜を過ごしながらか職員が、逃げ遅れている方々のため、停電対策の明かりになるあらゆる物をかき集め、廊下やトイレに並べたり（クリスマスツリー用の電灯まで持ち出した職員もあり、緊張感の中に笑いもありました）冷凍ご飯を湯煎しておにぎりを作ったりなど、奔走する姿に、一人ではできないパワーも感じつつ、大変なことになったという思いが募り

ました。
7日（日）の明け方、保育園の2階から見た景色は変わり、まるで大きな船に乗って海を進んでいるかのような錯覚を覚えたぐらい濁流は激しく下流に向かっていました。
この日の夜の雨が、一層激しかったことで、多方面の山肌を削ったことが、翌日、表門前の土砂が一メートル以上になり、民家のピアノがその土砂に突き刺さるように残っていた様子や駐車場が土砂の山になっていたことから想像できました。
しだいに小降りになりだした8日（日）の昼頃には、少しずつ水が引き始めましたが、以前の川は土砂に埋り、道路が新たな川の役割を果たしていました。
猛暑となった9日（月）は、40名以上に膨れ上がった地域住民の一時避難所を午前中で閉鎖させていただき、10日（火）からの保育園再開に向け、復旧作業開始となりました。
この四日間、地域住民の方々から「先生たち、寝てよ！見回りはするけんね！」「ここに避難できてよかった！」と不安の中、声をかけていただいたり、役場職員の皆様には、危険な山道を一時間以上かけて食料を運んでくださったり、保護者有志の皆様、保護者OBの皆様、坂中学校のバスケット部の生徒さん、グループ園の職員の皆様、職員の家族などには、園庭の汚泥の処理や駐車場の土砂の撤去などの保育園の再開に向けて、お手伝いをいただきました。
感謝の言葉しかありませんが、この災害を受けて、保育園としても防災対策の見直し、行政とのつながり、保護者の皆様に安心安全である保育園運営、地域に根差していくための地域とのつながりなど、多くの課題や保育園の存在価値などを発見することができました。
先日の台風12号の接近では、再び川の氾濫や土砂の流出、浸水など心配しました。小屋浦みみょう保育園との合同保育におけるバス運行（道路状況、運行時間）なども含めて、豪雨災害後、保育園が安心、安全な所であるという確信はないかもしれませんが、保育園でできる最大限の努力を職員とともに、知恵を出し合いながらしていきたいと思っています。
子ども達の脳裏に焼き付いた恐怖や不安を保育園に来た時だけでも和らげ、楽しいあそびを友達との関わり中でたくさん体験し、笑顔を取り戻していく姿に寄り添うことが、責務だと感じています。（園長 倉本弘子）

平和紙芝居

平和教育の一環として保護者会さくらんぼ会との共催により、中峠房江様にご来園いただき、紙芝居を利用してお話をしていただく予定になっておりましたが、道路事情等を考え延期とさせていただきます。

小学生福祉体験 8/22（水）

坂町社会福祉協議会との共催で、坂町内の小学生25名余りが、保育園での体験をします。その他、車いすでの体験、防災の体験をしながら福祉について考える機会にもなるとのこと。世代間交流を通して、幼い時を思い出し、家族について考えるきっかけになると嬉しいです。

昆虫教室 8/30（木）→9/13（木）

広島市森林公園内にある、こんちゅう館より、百野先生にご来園いただき、珍しい昆虫との触れ合いや飼育方法を学びます。図鑑で観たことを確かめたり、友達との会話が広がったり、一人ひとりの反応が違い毎年楽しい行事となっております。傍にいる職員が子ども達一人ひとりの受け止める世界を大切にしながら、感動を共有したいと思っています。日程が変更となりましたので、ご確認ください。
※11/1（木）予定している年長児のバス遠足（こんちゅう館）は、高速を抜けてからの道路が、この度の豪雨災害で、大型バスでの走行が、不可能という連絡が入り、目的地を変更の予定です。